

LSI コントローラの RAID ボリュームに対する整合性検査を無効にする

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[USRM/VRSMインスタンスを終了してから整合性チェックを無効にするユーティリティをダウンロードしています。](#)

[RedHat/Linuxのコマンド](#)

[ESXiの手順](#)

[VMware ESXi 5.xへのインストール](#)

[VMware Vsphereのコマンド](#)

概要

このドキュメントでは、厳密な入出力(I/O)要件を持つ一部のアプリケーションに悪影響を及ぼす可能性があるLSI RAIDコントローラのRedundant Array of Individual Disks(RAID)コントローラ整合性チェックを無効にする手順について説明します。このような要求の厳しいI/O要件を持つアプリケーションのグループがUniversal SessionとResource Manager/Videoscape Session Resource Manager(USRM/VRSM)になった場合、整合性チェックの実行中に発生する可能性のあるI/O待機の影響を無効にすることをお勧めします。 [CSCuw01134](#)を参照してください

前提条件

Cisco Unified Computing System(UCS)M3ラックサーバ (LSI 92XXモデルのRAIDコントローラ搭載)

整合性チェックを無効にするには、USRM/VRSMアプリケーションのメンテナンスウィンドウが必要です。

USRM/VRSMインスタンスを終了してから整合性チェックを無効にする

UCS C220には、最大8つのUSRM/VRSMインスタンスがあります。 整合性チェックを無効にする手順を実行する前に、各インスタンスを終了する必要があります。 整合性チェック手順が完了したら、各インスタンスを手動で再起動する必要があります。

注：次の2つのプロセスは、個々の顧客システム/要件に関して記述された高度なMethod of Procedure(MOP)に含める必要があります。 以下に、いくつかの例を示します。MOPには、サーバのフェールオーバーとフェールバックの調整が含まれ、お客様への影響を最小限に抑えることができます。 MOPでは、お客様ごとに異なる要件に対応できます。

USRM/VRSMソフトウェアを終了するには、次の手順を実行します。 注：USRM/VRSMの各インスタンスに対して、次の手順を実行する必要があります。

1. ブラウザでUSRM/VRSM Webユーザインターフェイス(UI)を開きます

